## ルート証明書インポート手順

ルート証明書が適切でないと、以下のようになります。



## 手順

1. 添付の証明書ファイルをクリックしてファイルを開きます。



2.証明書の全般タグにある[証明書のインストール(I)…]をクリックします。

📄 証明書			
全般 詳細	証明のパス		
		_	
1	証明書の情報		
この証明書	身の目的:	_	
• U <del>T</del>	モート コンピューターの ID を保証する	^	
<ul> <li>リモートコンビューターにIDを証明する</li> <li>         ・</li></ul>			
• ¥	,テメールを味護する フトウェアがソフトウェア発行者の送信であるか確認する	•	
	<b>ī先:</b> Security Communication RootCA2	-	
発行	<b>亍者:</b> Security Communication RootCA2		
有效	<b>幼</b> 期間 2009/05/ <b>29</b> から 2029/05/29		
	証明書のインストール(I) 発行者のステートメント	(S)	
	C	Ж	

※端末が Windows7 の場合は手順3の画面は出てきません。

手順4に進んでください。

3.証明書のインポートウィザードが開始されますので、[ローカルコンピュータ(L)]を選択して[次へ(N)]で 進みます。

 $\times$ 

← ● 髪 証明書のインポート ウィザード

## 証明書のインポート ウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピー します。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザーIDを確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護 されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステ ム上の領域です。

保存場所

● ローカル コンピューター(L)

○ 現在のユーザー(C)

続行するには、[次へ]をクリックしてください。

![](_page_2_Picture_11.jpeg)

4.証明書ストアでは、「証明書をすべて注ぎのストアに配置する」を選択し、参照ボタンをクリックします。

 $\times$ 

← 😺 証明書のインポート ウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

○証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

参照(<u>R</u>)...

	次へ( <u>N</u> )	キャンセル
-		

5.証明書ストアの選択が表示されるので「信頼されたルート証明機関」を選択し、OKをクリックします。

![](_page_4_Figure_1.jpeg)

「次へ」をクリックします。

証明書のインポートウィザードの完了で「完了」をクリック

以上でインポート作業完了です。